



第8回環境人部会 摘録

日時：平成25年7月3日(水)18:15~20:15

場所：宮前区役所4階第1会議室

【進行：佐々木部会長】

1 出席確認

出席：佐々木部会長、浦野委員、大村委員、福田委員、藤田委員、本郷委員、
芒崎委員、直本委員

欠席：白井委員、黒沢委員、森山委員

2 前回部会の議論を振り返り

別紙配布資料「第7回環境人部会 摘録」に基づき、前回部会の議論を振り返り、今年度の審議テーマを「公園の維持・管理・活用」とし、具体的な実施内容について議論を進めることを確認した。

3 公園の維持・管理・活用の具体的な取組内容の検討

別紙配布資料「例・第3期の報告書のスタイルに今までの議論を落とし込んだもの」に基づき、これまでの議論を振り返った。

引続き、別紙配布資料「第2期区民会議での公園に関する各提案の進捗状況」に基づき第2期区民会議提案に関する進捗状況を確認し、事務局が「公園に情報掲示板を設置することに関するアンケート集計結果」とともに補足説明した。

また、道路公園センター協働推進担当課長が別紙配布資料「公園管理について」に基づき、区内の公園の管理の状況について説明。

- ・市や道路公園センターの立場としては、区民の方々に愛護会・協議会を積極的に組織してもらいたい。
- ・まずは愛護会。そこから管理運営協議会にステップアップしてもらいたい。
- ・公園管理のボランティアの方が活動していることは看板を出しているのわかるが、ボランティアの方がいないことの広報も必要だろうと道路公園センターも課題認識はしている
- ・愛護会として登録されていなくても公園清掃をすすんでやってくださる方もいるので組織されていないところ全てが荒れているとは言えない。

コンサルタントが別紙配布資料「公園の機能と活用事例」に基づいて、公園の活用事例について説明した。

以上の内容を踏まえ、具体的な取組内容を検討した。主な意見は以下の通り。

A 公園を身近なコミュニティ活性化の場として活用する

浦野：フロントタウン隣のふれあい広場で子ども達を水遊びさせた後、母親達がフロントタウンのテラスでランチをしている。ふれあい広場には広い芝生があり、マットを敷いてお昼を食べたりできるが、そういうイメージはないようだ。公園内で完結できるしかけがあればいいのかもしれない。

佐々木：何も無いところに集まってコミュニケーションを取るの難しい。テラスがあるだけでも良いが、公園に集まった人達がコミュニケーションをとるきっかけになるようなしかけが必要だ。

直本：子ども達の遊びや公園体操の場だけでなく、曜日や時間帯で住み分けするなど、多目的に活用の幅を広げられると良い。

本郷：学生時代のクラブハウスは、椅子があり、また近くにうどん屋があったり、そういうところだからこそ集まりやすかった。今ある公園はいずれも町外れで、近くにはそういった店もない。そういうしかけがあると、集まりやすい。

佐々木：全部の公園は無理でも、人が集まれるようなスポットがいくつかあるといいのかもしれない。

直本：人が集まるには、ある程度の広さなどの条件がある。

本郷：資金力のある自治会は自治会館を持っているが、そうでない自治会に公園の一部を貸し、公園利用者が自由に使えることを条件に自治会館を建てることを許可してはどうか。

本田：子ども文化センターと老人いこいの家がそうだ。公有地に建っており、基本的には公園のそばにある。

【まとめ】

- ・公園に集まりやすいしかけをつくる。
- ・公園を多目的に利用する

B 公園の維持・管理・活用に多くの区民が関わる仕掛けをつくる

福田：4,000㎡を越えると公園ではなく自然林だ。市民がイメージする公園は自分の敷地よりも多少広く、目が届く範囲の空間だ。長尾公園にも森のような部分があり、公園管理運営協議会等で手をつけることは無理だ。「公園」でくくることに無理がある。

芒崎：書類作成が障害となって公園管理協議会の会長のなり手がいない。公園の管理や清掃の担い手はいる。

佐々木：インタビュー形式にするなど書類作成の部分をサポートしてはどうか。

藤田：書類そのものは難しいものではない。書類を書くのが嫌ということだ。

芒崎：お金も貯まったので、道具を収納する倉庫と電動草刈機の購入を決めた。一時よりも少しずつ話が進んでいる。

佐々木：活動を始める際に必要な道具を貸与できると良いのではないか。

福田：自分達のまちは自分たちでつくるという観点からすると、自分達の公園は自分達たちで維持管理するということが大事だ。

佐々木：市の広報誌で公園管理運営協議会の設置を呼びかけたり、道具の貸与についても情報発信してはどうか。

福田：みんなのための、みんなの公園だ。町内会・自治会だけで管理をしようと思うから、骨がおれる。みんなでやろうといえ、自然発生的にやってくれるだろう。それがまちづくりであり、人づくりだ。

【まとめ】

- ・公園愛護会・公園管理運営協議会が未設置の公園については、まず公園愛護会の設置を進める必要がある。
- ・公園愛護会がある公園については、公園管理運営協議会に移行してもらえ
る方法を考える。
- ・公園活用の提案は、企画部会で具体的なものを1～2案に検討する。

〈具体的取組〉

- ・未設置公園に管理者募集の案内を掲示する
- ・市政だより等で公園管理者募集の告知や広報を行う
- ・貸出可能な用具について周知する

区民会議のあり方について

大村：第2期で提案した③「公園月間の設定」、④「公園管理運営協議会をサポート」については、成果があがっていない。区民会議提案がブレークダウンされていない。それが区民会議の知名度が低い理由だ。今後の取組をどうするかが問題だ。

佐々木：③④についてはテーマとして挙げたが具体的なところまで落とし込まなかったということだった。これを教訓に、提案を広げるのではなく、具体的に落とし込むところまでを確実にする方向で話し合えると良い。

直本：第1、2期は区民会議としてどのような方向性で進めるかもわからない状況での議論だったと聞いている。課題だけ提案し、行政に丸投げでは実現が難しい。解決できなかった課題はその後の区民会議で取上げ、具体的な方向付けを協議することも可能だ。また、今日ここでの取組内容の検討も、実現可能なところまで議論する必要がある。

【次回の進め方】

公園活用の提案は、企画部会でたたき台として具体的な提案を2案程度検討する。次回は、それらをブラッシュアップする形で議論を進める。

4 次回の日程

【第5回 企画部会】

7月24日（水）18：15～ 区役所4階第1会議室

【第6回 区民会議】

8月5日（月）18：15～ 区役所 大会議室

【第9回 環境人部会】

9月3日（火）18：15～ 区役所4階第1会議室